

I 全国学力・学習状況調査の実施状況

1 実施日 令和5年4月18日（火）

2 対象学年 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査事項及び手法

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 国語、算数・数学及び英語（中学校のみ）の3教科について、調査を実施した。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前年度までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下のとおりであった。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識及び技能 等

②知識及び技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

(ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入した。

イ 質問紙調査（児童・生徒質問紙調査）

質問紙調査は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査を実施した。

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施した。

4 令和5年4月18日（火）に調査を実施した学校・児童生徒数

〔表 I〕 調査実施校数及び児童生徒数

	小学校		中学校	
	実施校数	児童数	実施校数	生徒数
長野県（公立）	353 校	15,800 人	185 校	15,277 人
全 国（公立）	18,619 校	964,350 人	9,339 校	893,528 人

※調査を実施した児童生徒数は、回収された解答用紙が最も多かった教科の解答用紙の枚数で算出した。

※全国学力・学習状況調査の教科調査問題、質問紙調査問題、全国の状況などは、国立教育政策研究所のホームページ（<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>）を参照のこと。